

## ESC コマンド

14

## イメージ・データ設定

ESC %1

イメージ・データの水平方向の印刷ドット数を設定します。N1, N2は、水平方向の印刷ドット列数を表します。

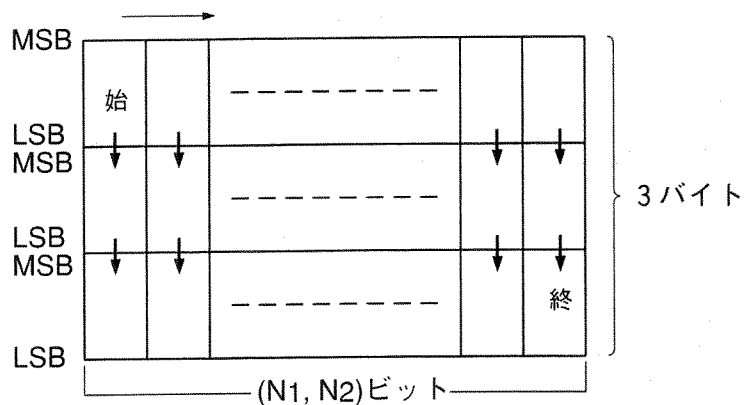
## 書式

1B 25 31 N1 N2 Image Data

N1, N2の範囲は X'0001' から X'0B40' (1/180インチ~16インチ) です。

本コマンドに続きイメージ・データを転送します。

データの転送順位は次のとおりです。(MSB:最上位ビット, LSB:最下位ビット)



本コマンドは、180ドット/インチのワイアドット・プリンター・イメージ制御コマンドのため、ページプリンターで縮小モードOFFの場合は、ペル変換を行い、印字します。

これは、イメージ・データ拡大設定 (ESC %2), 固定長イメージ設定 (FS) に対しても適用されます。

## 注意

- 右マージンを越えたデータは印刷されません。ただし、操作パネル上での設定によって右マージンを越えたデータを次行に印刷するモード(イメージ・データ折り返しモード)も選択できます。
- IBM 5575/5577 では N1 N2 は最大 X'0990' (13.6インチ) です。

使用例

●コマンド列●

```

1B 25 31 00F0
B'100000001000000010000000'
B'010000000100000001000000'
B'001000000010000000100000'
B'000100000001000000010000'
B'000010000000100000001000'
B'000001000000010000000100'
B'000000100000001000000010'
B'000000010000000100000001'
1B 25 35 0010
0D
    
```

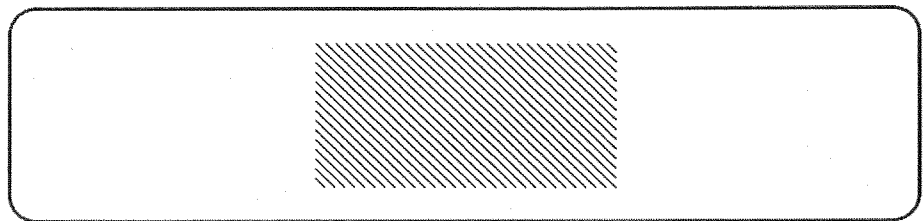
24スライスのイメージ指定  
イメージデータの指定

30回繰り返す

5回繰り返す

24ドット縦送り  
復帰

●印刷結果●



15

イメージ・データ拡大設定

ESC %2

イメージ・データの倍幅印字（水平方向に2倍）を指定します。

書式

1B 25 32 N1 N2 Image Data

N1, N2は拡大する前のイメージ・データの水平ドット列数を表します。

N1, N2の範囲は X'0001' から X'05A0' (2/180インチ~16インチ) です。

本コマンドに続き、転送されるデータ形式は ESC %1 の場合と同じです。

本コマンドは、180ドット/インチのワイアドット・プリンター・イメージ制御コードのため、ページ・プリンターで縮小モードのOFFの場合は、ペル変換を行い、印字します。

これはイメージ・データ設定 (ESC %1), 固定長イメージ設定 (FS) に対しても適用されます。

注意

■ IBM 5575/5577 では N1 N2 は最大 X'04C8' (13.6インチ) です。

## ESC コマンド

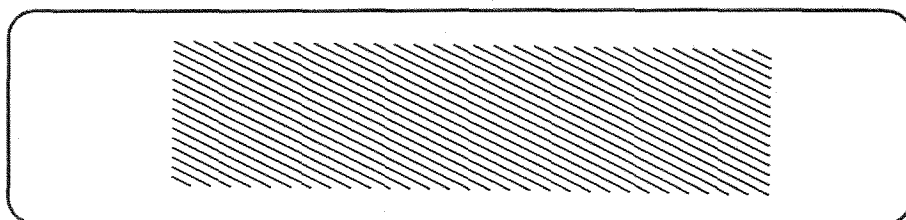
### 使用例

#### ●コマンド列●

```
1B 25 32 00F0  
B'100000001000000010000000'  
B'010000000100000001000000'  
B'001000000010000000100000'  
B'000100000001000000010000'  
B'000010000000100000001000'  
B'000001000000010000000100'  
B'0000001000000001000000010'  
B'0000000100000000100000001'  
1B 25 35 0010  
0 D
```

240スライスイメージ拡大指定  
イメージ・データの指定  
30回繰り返す  
24ドット縦送り  
復帰  
5回繰り返す

#### ●印刷結果●



## 16

### 可変飛び越し

## ESC %3

N1, N2で指定された長さだけ、0.141 mm (1/180インチ) 単位に印字位置を右に飛び越します。

#### 書式

1B 25 33 N1 N2

N1, N2の範囲は、X'0001' から X'0B40' (1/180インチ~16インチ) です。

縮小モードに設定されている場合は0.106 mm (1/240インチ) 単位になります。

右マージンを超えると超えた分だけが通常無視されますが、イメージ・データ折り返しモードでは次行に超えた分だけ飛び越します。

#### 注意

■ IBM 5575/5577 では N1 N2 は最大 X'0990' (13.6インチ) です。

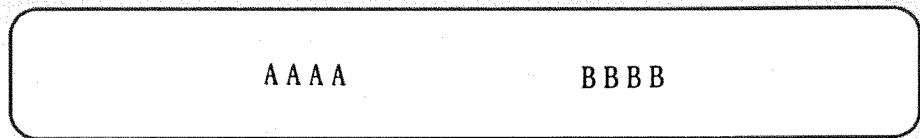
## 使用例

## ●コマンド列●

```
'A A A A'  
1B 25 33 00B4  
'B B B B'  
0D 0A
```

文字列'AAAA'  
180ドット(1インチ)水平スキップ指定  
文字列'BBBB'  
復帰, 改行

## ●印刷結果●



## 17

## 可変逆飛び越し

## ESC %4

N1, N2で指定された長さだけ 0.141 mm (1/180インチ) 単位に印字位置を左に飛び越します。

## 書式

**1B 25 34 N1 N2**

N1, N2の範囲は X'0001' から X'0B40' (1/180インチ~16インチ) です。

飛び越し先が左マージンを超えている場合は、印字位置は現在の印刷行の左端まで戻ります。

縮小モードに設定されている場合は0.106 mm (1/240インチ) 単位になります。

## 注意

■ IBM 5575/5577 では N1 N2 は最大 X'0990' (13.6インチ) です。

## ESC コマンド

### 使用例

#### ●コマンド列●

```
1B 25 33 0384  
'A A A A'  
1B 25 34 021C  
'B B B B'  
0D 0A
```

900ドット(5インチ)右方向へスキップ  
文字列 'AAAA'  
540ドット(3インチ)左方向へスキップ  
文字列 'BBBB'  
復帰, 改行

#### ●印刷結果●

BBBB

AAAA

## 18

### 可変行送り

## ESC %5

N1, N2で指定された長さだけ, 1/120インチ単位で行送りします。下マージンを超える場合は, そこまでのページの印刷を開始します。

#### 書式

**1B 25 35 N1 N2**

N1, N2の範囲は, X'0001' から X'06B8' (364mm = 約14.3インチ)までです。

行送りされる量は, 0.21 mm (1/120インチ)の X'N1N2' 倍です。

縮小モードに設定されている場合は 0.159 mm (1/160インチ) 単位になります。

#### 注意

- IBM 5575/5577 では N1 N2 は最大 X'00FF' (約 2.1インチ) です。
- 行送りの結果, そのベースラインが下マージンを超える場合は自動改ページされません。

## 使用例

## ●コマンド列●

'A A A A'	文字列 'AAAA'
0D	復帰
1B 25 35 0028	40/120インチ下方向へ行送り
'B B B B'	文字列 'BBBB'
0D 0A	復帰, 改行

## ●印刷結果●

A A A A

B B B B

## 19

## 復帰点設定

## ESC %6

N1, N2で指定された場所に 0.141 mm (1/180インチ) 単位で印字位置を水平移動します。

## 書式

1B 25 36 N1 N2

N1, N2の範囲は, X'0001' から右マージンまでです。

本コマンドを受けると, 左端から X'N1N2' x 1/180 インチの位置に印字位置が移動します。改行はしません。

本コマンドの次に印字データを受け取った場合に, 本コマンドによって指定された位置から印刷が始まります。

縮小モードに設定されている場合は 0.106 mm (1/240インチ) 単位になります。

## 注意

■ IBM 5575/5577 では N1 N2 は最大 X'0990' (13.6インチ) です。

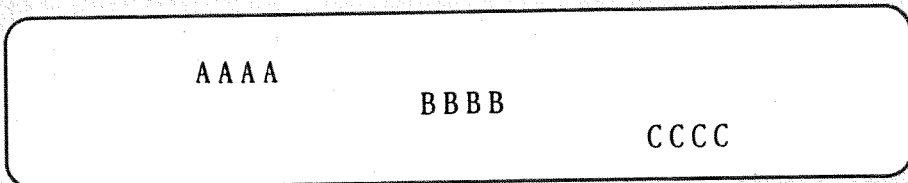
使用例

●コマンド列●

```
'A A A A'
0D 0A
1B 25 36 00B4
'B B B B'
0D 0A
1B 25 36 0168
'C C C C'
0D 0A
```

文字列 'AAAA'  
 復帰, 改行  
 左から180ドット(1インチ)に復帰点設定  
 文字列 'BBBB'  
 復帰, 改行  
 左から360ドット(2インチ)に復帰点設定  
 文字列 'CCCC'  
 復帰, 改行

●印刷結果●



N1, N2で指定された長さだけ0.212 mm (1/120インチ)単位に行戻りします。

書式

**1B 25 38 N1 N2**

N1, N2の範囲は X'0001' から X'06B8' (364mm = 約14.3インチ)です。

TOF位置を超えて行戻りを行うと, 印字位置はTOF位置で止まります。

縮小モードに設定されている場合は 0.159 mm (1/160インチ)単位になります。

注意

■ IBM 5575/5577 では N1 N2 は最大 X'0028' (1/3 インチ) です。

## 使用例

## ●コマンド列●

```
0A 0A 0A 0D
'A A A A'
1B 25 38 0028
'B B B B'
0D 0A
```

```
3行分行送り
文字列 'AAAA'
40/120インチ逆方向行送り(行戻り)
文字列 'BBBB'
復帰, 改行
```

## ●印刷結果●

```
BBBB
AAAA
```

## 21

## 行送り量設定

## ESC %9

N1, N2で指定された行送り量を 0.212 mm (1/120インチ)単位で設定します。

## 書式

1B 25 39 N1 N2

N1, N2の範囲は, X'0001'から X'003C'(1/3インチ)です。

縮小モードに設定されている場合は 0.159 mm (1/160インチ)単位になります。



使用例

●コマンド列●

1B 25 39 000F	行送り量を15/120インチに設定
'A A A A'	文字列 'AAAA'
0D 0A	復帰, 改行
'A A A A'	文字列 'AAAA'
0D 0A	復帰, 改行
1B 25 39 0019	行送り量を25/120インチに設定
'B B B B'	文字列 'BBBB'
0D 0A	復帰, 改行
'B B B B'	文字列 'BBBB'
0D 0A	復帰, 改行

●印刷結果●

```

AAAA
AAAA
BBBB
BBBB
    
```

3バイト転送モード設定

3バイト転送モードを設定します。

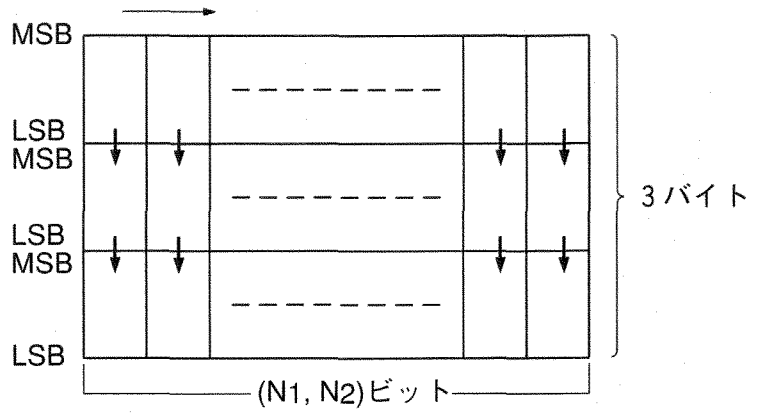
ESX 0E.15 (X'1B 7E 0E 00 01 15')と同じです。できるだけ ESX 0E.15 を使用してください。

書式

1B 28

電源スイッチを入れたときに省略時のモードとして、このモードが設定されます。

データの転送順序は次のとおりです。(MSB: 最上位ビット, LSB: 最下位ビット)



使用例

●コマンド列●

```

1B 28
1B 25 31 00F0
B'100000001000000010000000'
B'010000000100000001000000'
B'001000000010000000100000'
B'000100000001000000010000'
B'000010000000100000001000'
B'000001000000010000000100'
B'000000100000001000000010'
B'000000010000000100000001'
1B 25 35 0010
0 D
    
```

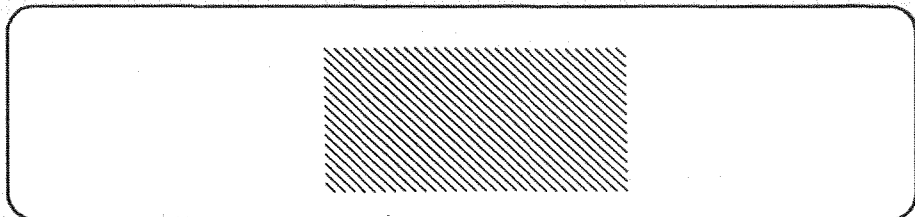
3バイト転送モードの設定  
240スライスのイメージ指定  
イメージ・データの指定

30回繰り返す

5回繰り返す

24ドット縦送り  
復帰

●印刷結果●



23

2バイト転送モード設定

ESC )

2バイト転送モードを設定します。

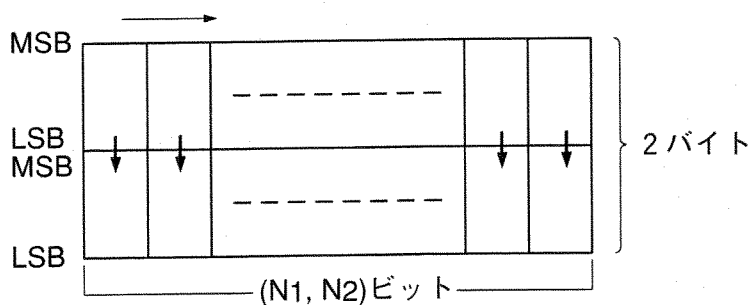
ESX 0E.16 (X'1B 7E 0E 00 01 16')と同じです。できるだけ ESX 0E.16 を使用してください。

書式

1B 29

電源スイッチを入れたときに省略時のモードとして、3バイト転送モードが設定されます。

データの転送順序は次のとおりです。(MSB:最上位ビット, LSB:最下位ビット)



本コマンドは120ドット/インチ用ワイアドット・イメージを制御するコマンドのため、5587-H01/5585-H01では、縦横共2倍に拡大されます。

注意

■ 本コマンドはできるだけ使用しないでください。(OS/2では使用できません。)

使用例

●コマンド列●

```

1B 29
1B 25 31 00F0
B'100000000100000000'
B'010000000010000000'
B'001000000001000000'
B'000100000000100000'
B'000010000000010000'
B'000001000000001000'
B'000000100000000100'
B'000000010000000010'
B'000000001000000001'
1B 25 35 0010
0 D
    
```

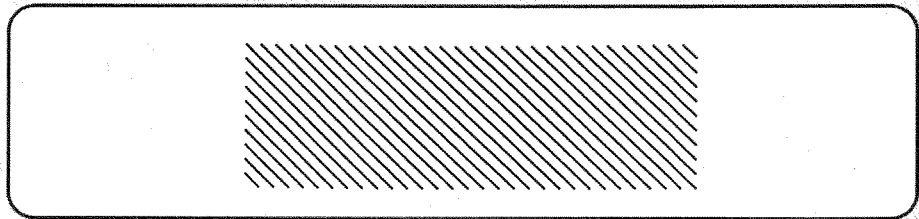
2バイト転送モードの設定  
240スライスのイメージ指定  
イメージ・データの指定

30回繰り返す

5回繰り返す

16/120インチ行送り  
復帰

●印刷結果●



24

単票吸入

ESC S

本コマンドは書式送りコマンドFFと同じです。印字バッファにあるデータをすべて印刷し、用紙を排出します。

書式

1B 53

ESX 0E.05 (X'1B 7E 0E 00 01 05')と同じです。できるだけ ESX 0E.05 を使用してください。

注意

■ 用紙がTOF位置にある場合は無視されます。

25

## 単票排出

ESC V

本コマンドは書式送りコマンドFFと同じです。印字バッファーにあるデータをすべて印刷し、用紙を排出します。

## 書式

1B 56

ESX 0E.06 (X'1B 7E 00 01 06')と同じです。できるだけ ESX 0E.06 を使用してください。

## 注意

■ 用紙が TOP 位置にある場合は無視されます。

26

## 文字拡大設定

ESC [

本コマンド以降に印刷される文字は、横幅が2倍になります。

## 書式

1B 5B

ESX 0E.09 (X'1B 7E 00 01 09')と同じです。

## 使用例

## ●コマンド列●

1B 5B	文字拡大設定
'この行は横二倍で印刷されます。'	文字列
0D 0A 0A	復帰、改行
1B 5D	文字拡大解除
'この行は通常倍で印刷されます。'	文字列
0D 0A	復帰、改行

## ●印刷結果●

この行は横二倍で印刷されます。  
この行は通常倍で印刷されます。

27

## 文字拡大解除

ESC ]

本コマンド以降に印刷される文字は、通常サイズになります。

## 書式

1B 5D

ESX 0E.0A (X'1B 7E 0E 00 01 0A')と同じです。

本コマンドはESX 0E.09, ESC [, ESX 20で設定された文字拡大を解除します。